

地中ハイウェイオアシス

—山に沈み、空に開く—



設計主旨

私は、伊予灘サービスエリアに隣接する山に「地中ハイウェイオアシス」を計画し、通過点であるサービスエリアを目的地へと転換することを目指した建築を提案する。建物の大部分を地中に埋め込み、山の一部として建築することで、自然環境への影響を抑えながらも、強い印象を残す空間を生み出している。

RC造・80m×50mの構成とし、1階を駐車場、2階を展望台・キッズスペース・愛媛の名物を提供するフードコート、3階には屋外広場とホテル機能を配置した。観光客だけでなく、地域住民や家族連れも日常的に利用できる複合施設とすることで、地域に開かれた場をつくる。建物の中で唯一地上に顔を出す2階の展望台からは周囲の景色を一望できる。建物中央には2階から6階まで貫く大きな吹き抜けを設け、最上階の温泉受付から螺旋階段を降りながら、岩盤浴、砂風呂、サウナなど多様な温浴体験を連続的に楽しめる構成とした。吹き抜けを通して空と繋がる混浴露天風呂は、本建築の象徴的な空間であり、家族や友達、恋人とともに楽しんでもらいたい。

本施設を通して、伊予灘サービスエリアの魅力を再発見し、通過点であったサービスエリアを「滞在する目的地」へと転換する構成としている。愛媛県の新たな観光の拠点となる建築を提案する。

コンセプト

山に沈む

建物のほとんどを地中に埋め込むことで、建物が景観を邪魔しない。かつ、唯一山から出ている展望台が本施設の象徴であるということがはっきりと見てとれる。土の中は外よりも温度が安定し、夏は涼しく、冬は暖かい。

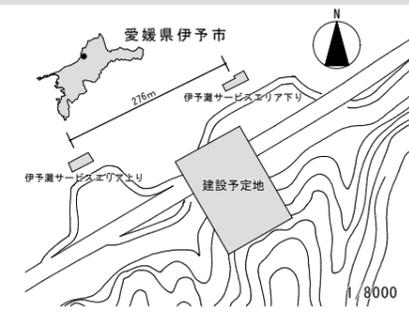
空に開く

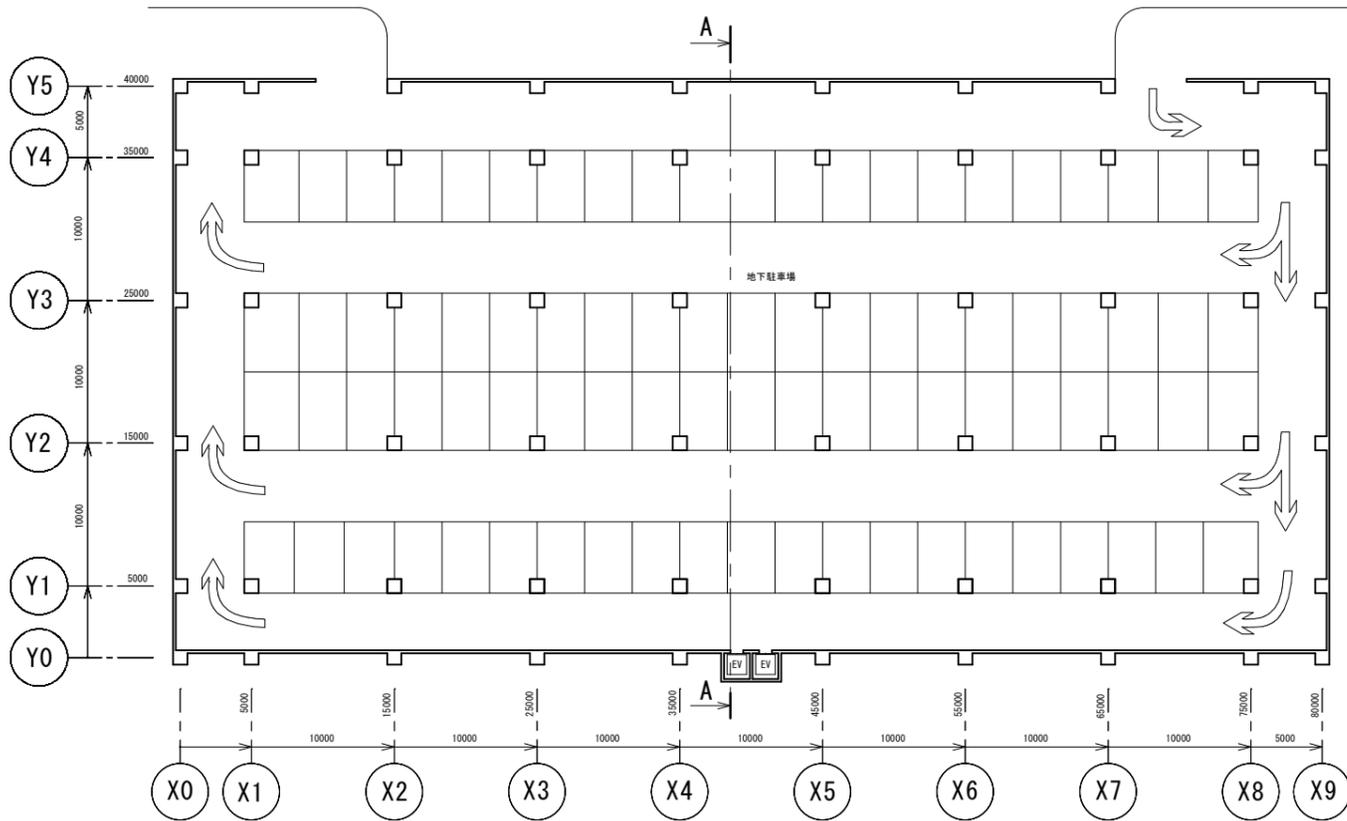
2階から6階までは直径9mの大きな吹き抜けを設け、2階の混浴露天風呂から上を見上げると青空が見える。



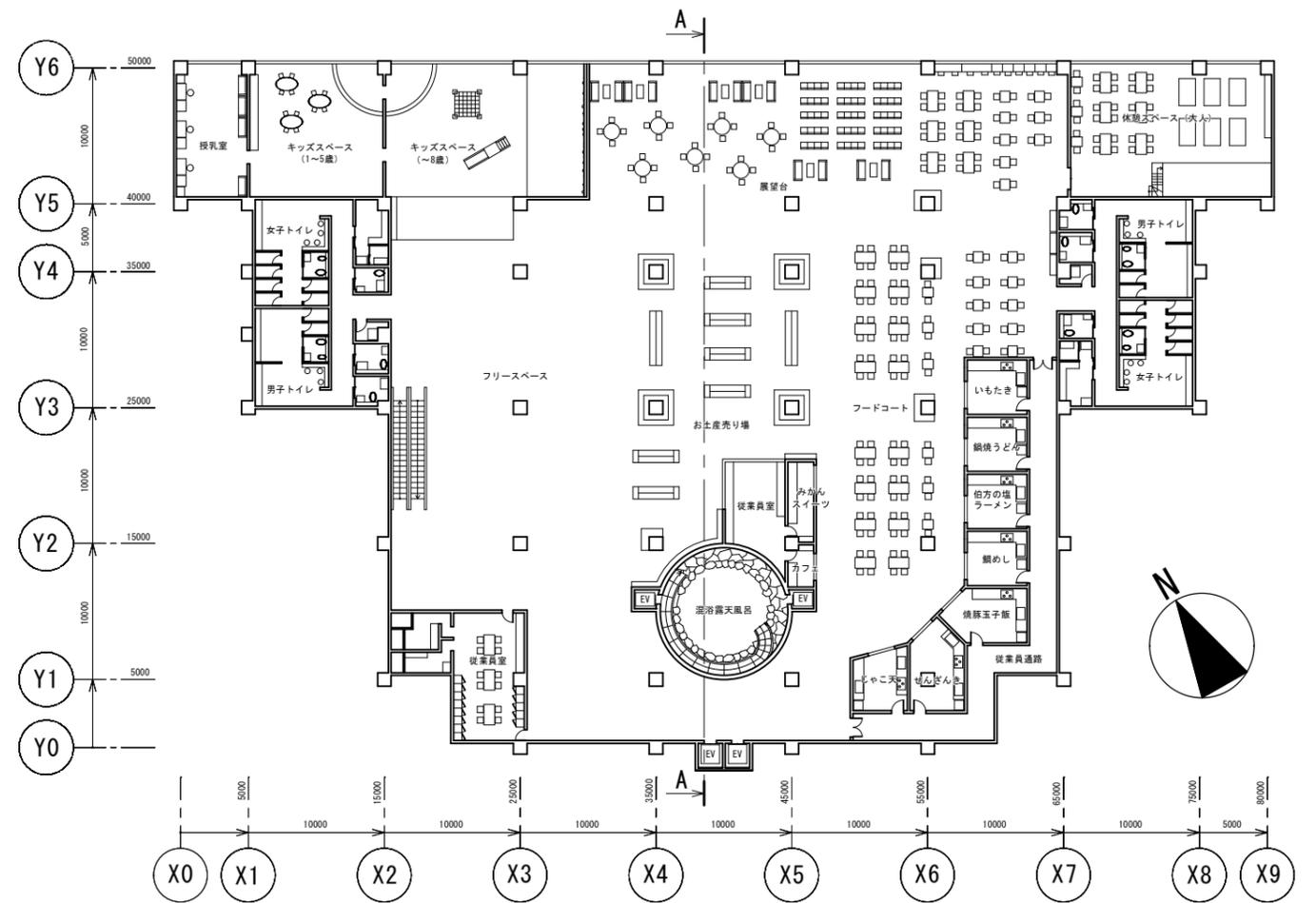
建設予定地・配置図

高速道路を挟んだ向かいには既存の「伊予灘サービスエリア（上下）」がある。伊予灘サービスエリアは、夕日や松山平野の夜景を一望できる絶景スポットとして知られている。また、恋人の聖地としても有名である。本施設は伊予灘サービスエリアを訪れた家族連れやカップル、観光客、また、近くに住む地域住民などをターゲットに愛媛の魅力を詰め込んだハイウェイオアシスとなっている。





1階平面図 1/350



2階平面図 1/350

2F

展望台

山からの景色を眺めながら談話や食事ができる。

フードコート

愛媛の食べ物

- ・いもたき
- ・鍋焼きうどん
- ・伯方の塩ラーメン
- ・みかんスイーツ
- ・カフェ (タルト、坊ちゃん団子など)
- ・鯛めし
- ・焼豚玉子飯
- ・せんざんき
- ・じゃこ天

お土産コーナー

愛媛が誇る特産品が勢揃い。
みきゃんグッズもおすすめ。

フリースペース

ファミリー向けのイベントが開催される。

休憩スペース (大人)

運転の疲れを癒す。
仮眠室、マッサージチェア、コーヒー、本

キッズスペース

・0歳の赤ちゃん用・・・安心して授乳、
おむつ替えができる。

・1～5歳の子供用・・・絵本やお絵描き、
積み木、ボールプール

・～8歳の子供用・・・ジャングルジム、滑り台
ボルダリング、ボールプール

3F

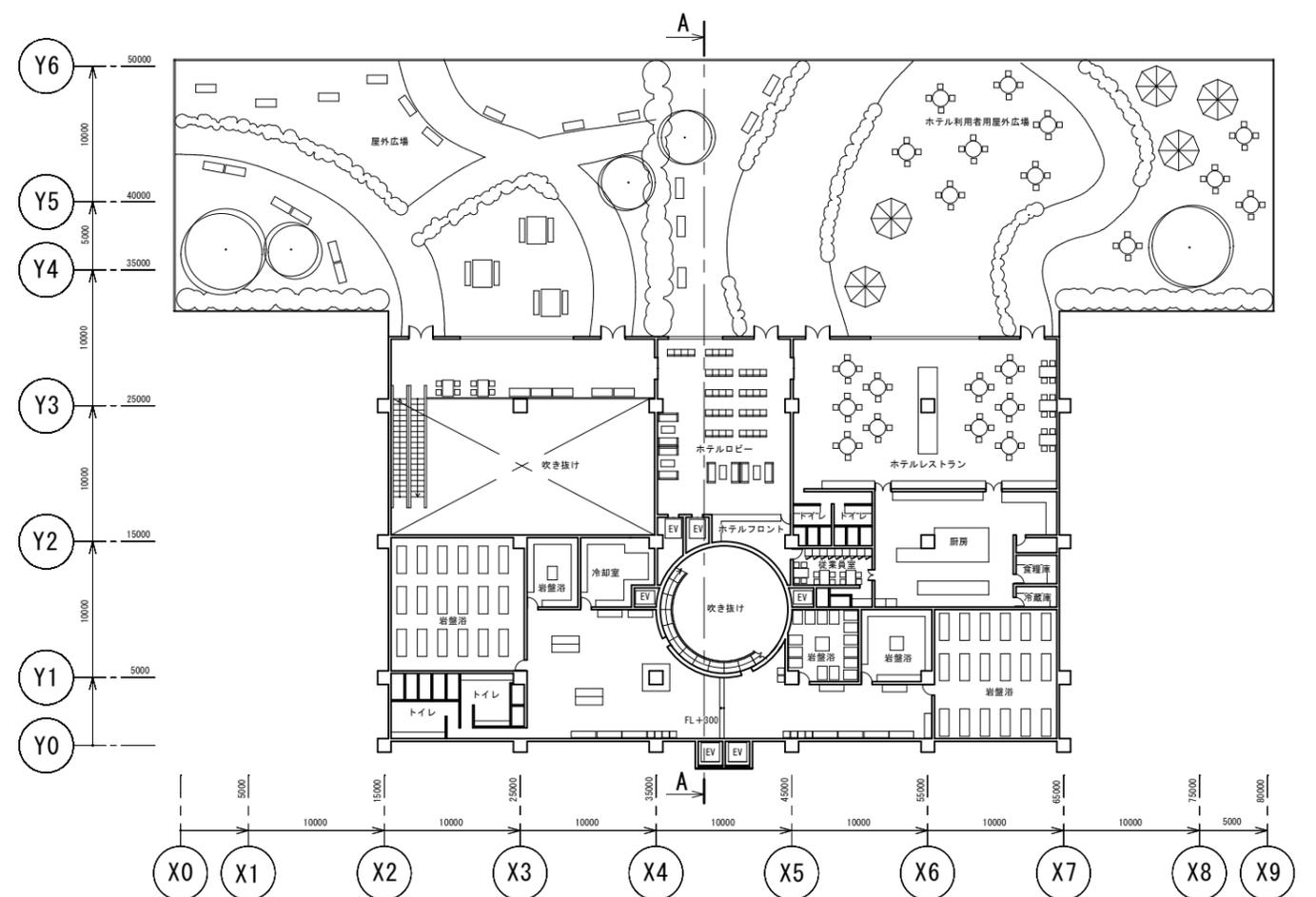
岩盤浴

ホテルロビー・レストラン

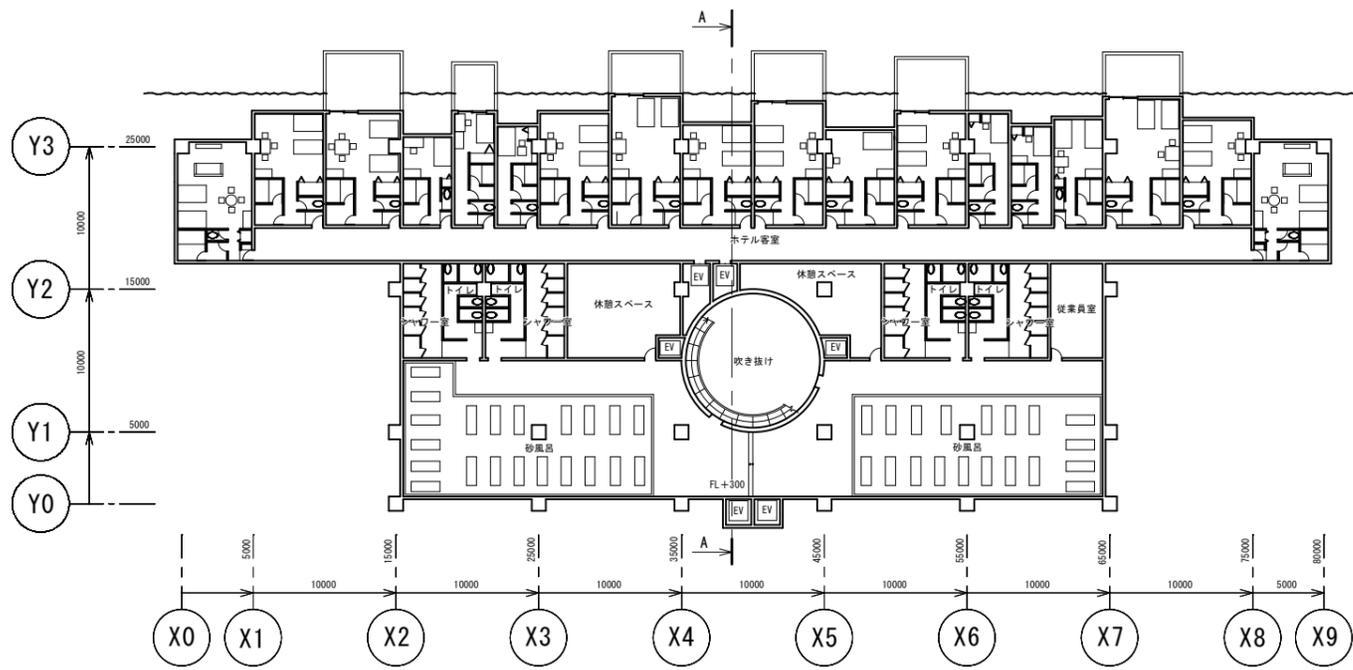
広々としたレストランはバイキング方式。
天気の良い日は屋外広場に出での食事◎

屋外広場

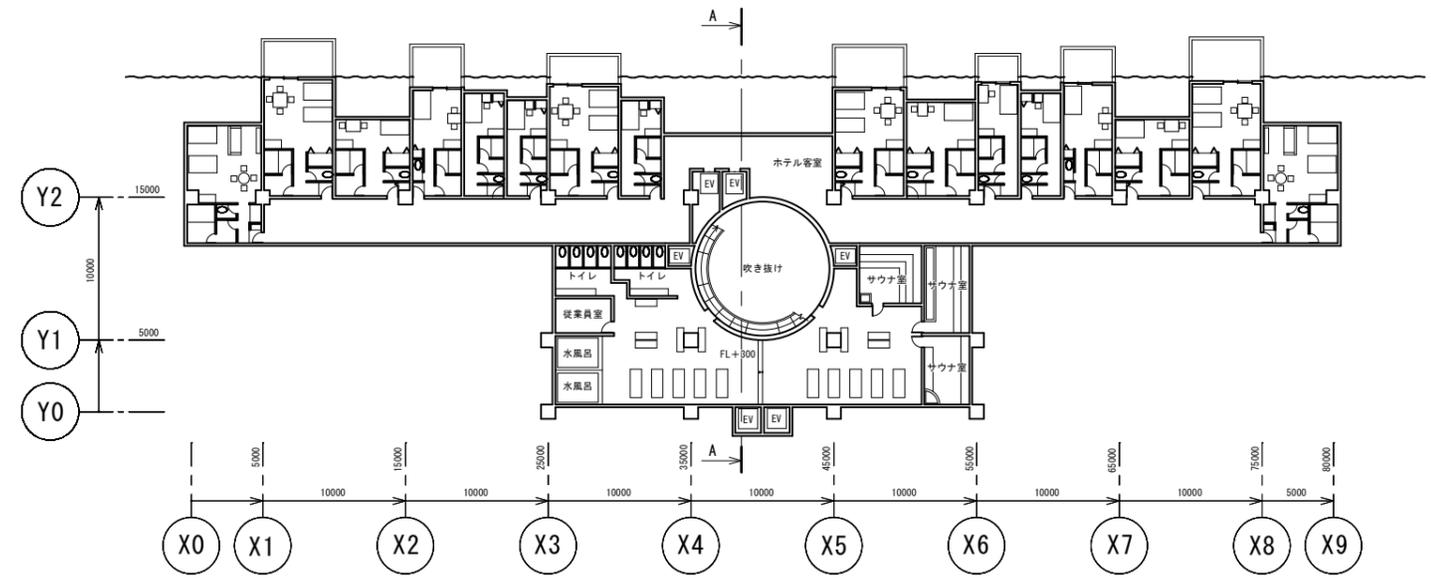
展望台の屋根を屋外広場として使用。
宿泊者用と宿泊しない人用とで分けることで、
ホテル利用者のプライバシーを確保。



3階平面図 1/350



4階平面図 1/350



5階平面図 1/350

4F・5F

ホテル客室



砂風呂

サウナ

6F

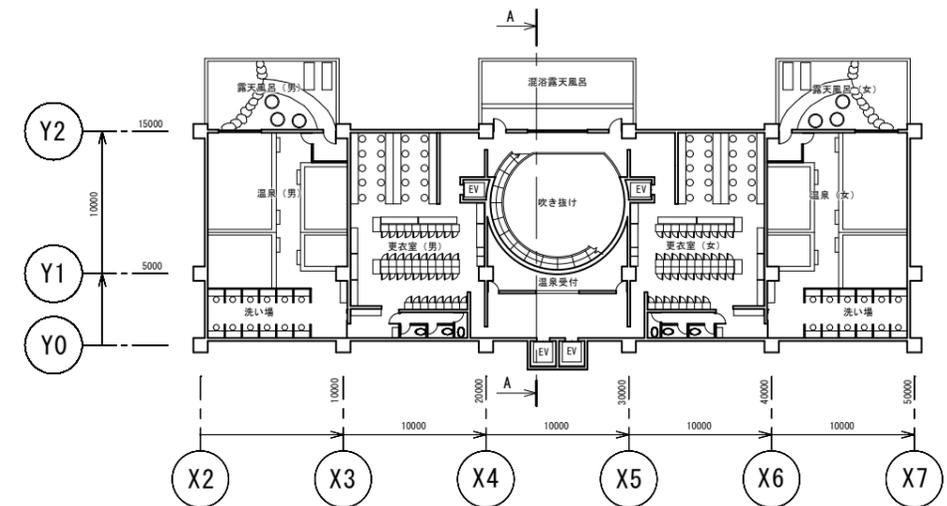
温泉

混浴露天風呂

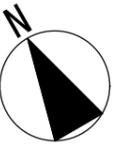
男女露天風呂

建築概要

構造形式	RC造
建築面積	4050m ²
延床面積	12870m ²
階数	6階



6階平面図 1/350



混浴露天風呂の楽しみ方

本施設は、縦動線型温浴施設である。最上階である6階で受付・更衣を行い、水着に着替えたのち、螺旋階段を使って上階から下階へと徐々に体験を深めていく温浴施設である。

6F

- 温泉受付
- 更衣室
- 混浴露天風呂
- 男女別室内風呂
- 男女別露天風呂

最上階である6階は、この施設で最も開放的なフロアとし、周囲の景観を最大限に取り込む展望メインの露天風呂を配置。受付・更衣をこの階に集約することで、利用者は日常から切り離され、これから体験が始まるというワクワクを感じる。



5F

サウナフロア

サウナ室は、ドライ、スチームなど複数用意され、それぞれ温度や雰囲気微妙に異なる。

- 高温でしっかり汗をかくタイプ
 - やや低温で長くいられるタイプ
- など、利用者が自分のペースで選べる構成になっている。

サウナから出た後のクールダウンや休憩も充実している。



4F

砂風呂フロア

5階でサウナで刺激を受けた身体を、ここでは動かさず、包まれ、委ねる体験へと切り替えている。

上階から下ってくるにつれ、この階では「眺め」や「活動性」を抑え、重力・温度・静けさが支配する空間として計画している。シャワー室やクールダウン用の休憩スペース、談話室も備わっている。



3F

岩盤浴フロア

- 低温 (44℃)
 - 高温 (55℃)
 - 女性専用
 - 岩塩・塩壁
 - アロマ噴霧
- と種類が豊富。

岩盤浴フロアには「長く居ていい」と感じられる要素をちりばめている。書籍棚やマガジンラック、ラウンジスペース、仕切りのある半個室的岩盤床など。



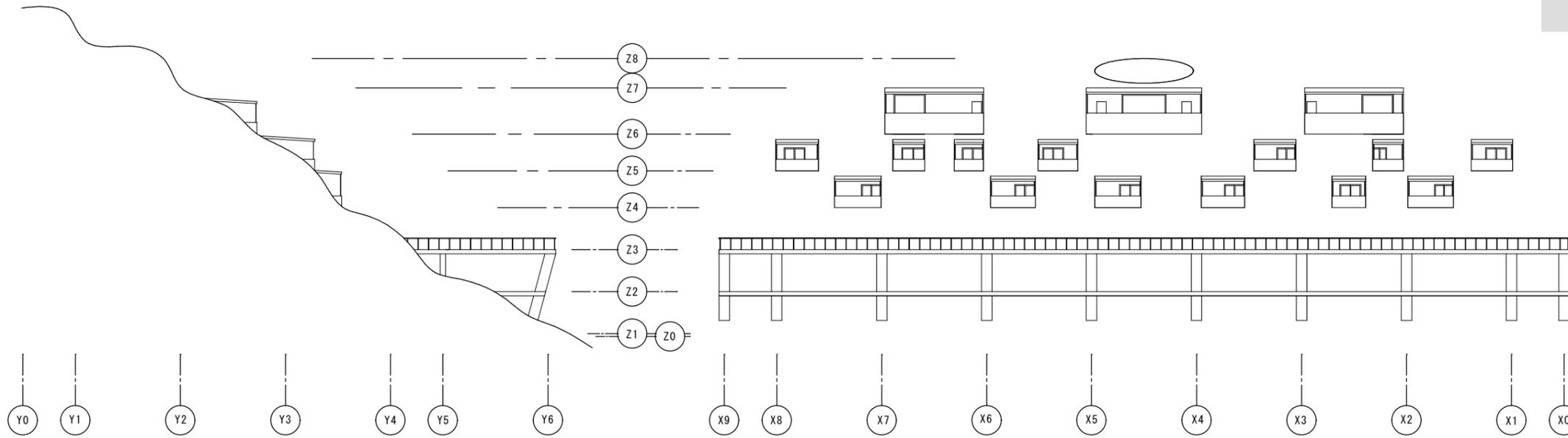
2F

空を仰ぐ混浴露天風呂フロア

温浴体験の終着点となるのは、空を仰ぐ混浴露天風呂である。露天風呂から上を見上げると、昼は雲の流れ、夕方は色の移ろい、夜は月や星が広がる。6階から始まった数多くの温浴体験の「締め湯」として、大切な家族や友人と同じ空間を共有してほしい。

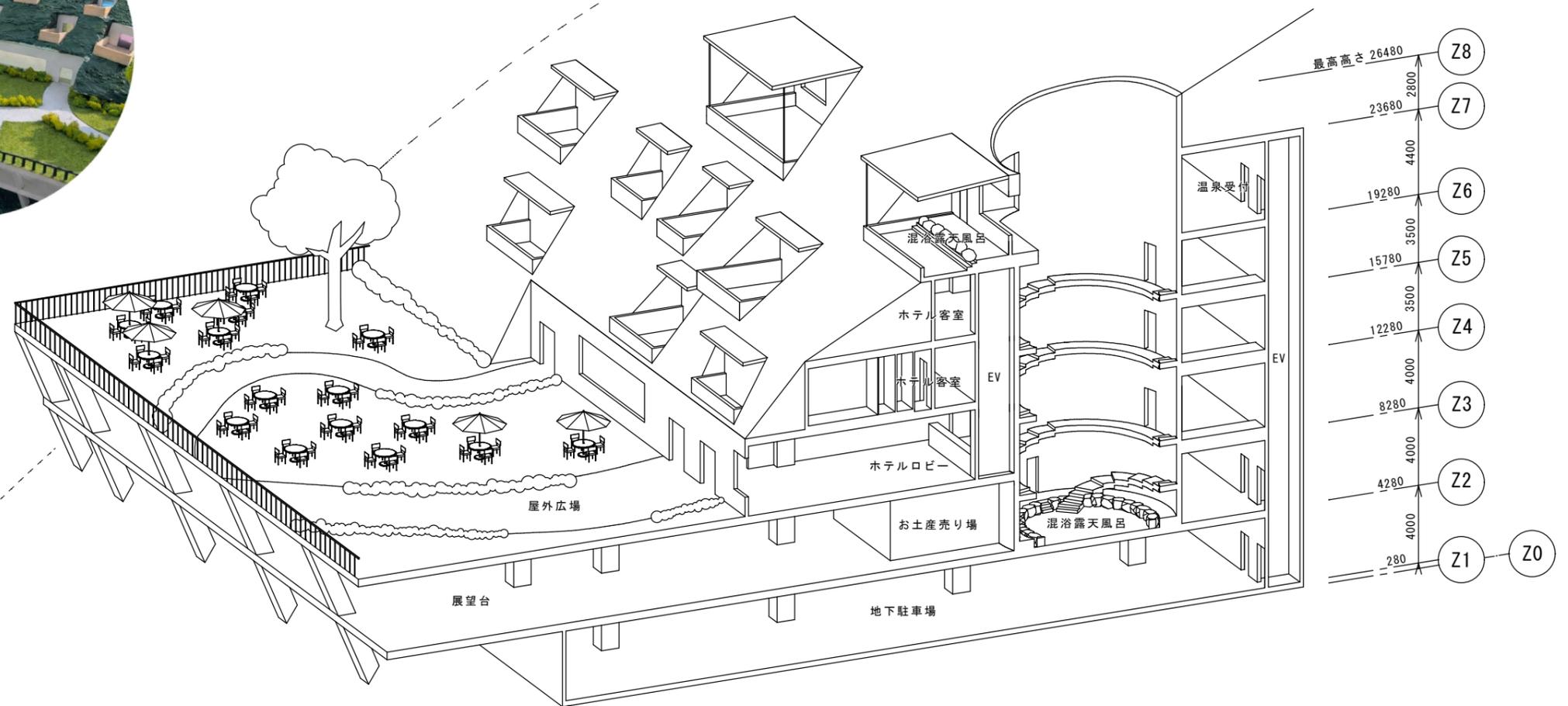
夜のハイウェイオアシス

夜になると建物の内部の光が柔らかく滲み出し、敷地全体をカラフルな色彩で包み込む。



北東立面図1/350

北西立面図1/350



A-A断面パース図1/200